

土砂災害から身を守るために知っていただきたいこと

土砂災害から身を守るために、台風や大雨の際は、土砂災害に注意してください

土砂災害は、予測の難しい災害ですが、土砂災害から身をまもるために国民の皆様を知っていただきたい3つのことについてお知らせします。



台風が来る前に

①お住まいの場所が、土砂災害危険箇所か確認する。

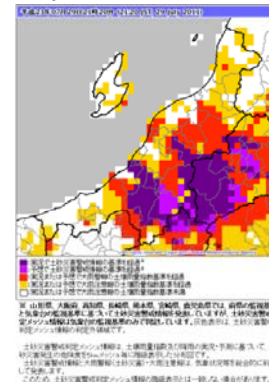
土砂災害の約6割は、「土砂災害危険箇所」で発生します。
普段からお住まいの場所が土砂災害危険箇所にあるかどうか、砂防部のホームページ (http://www.mlit.go.jp/river/sabo/link_dosya_kiken.html) などで確認しましょう。あるいはお住まいの市町村役場に問い合わせください。
*ただし、土砂災害は、土砂災害危険箇所以外でも発生します。



雨が降り始めたら

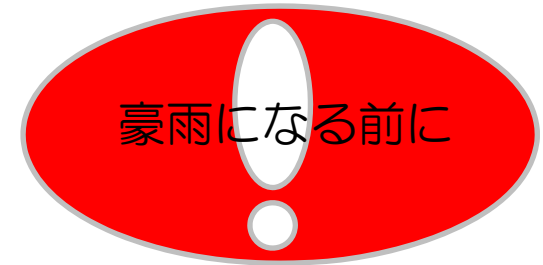
②土砂災害警戒情報や雨量の情報に注意する。

大雨による土砂災害発生の危険度が高まった時には「土砂災害警戒情報」が発表されます。雨が降り出したら、雨雲の動きと土砂災害警戒情報に注意しましょう。
土砂災害警戒情報は、気象庁ホームページ、(<http://www.jma.go.jp/jp/dosha/>) 砂防部のホームページ、(http://www.mlit.go.jp/river/sabo/sabo_ken_link/index.html) 各都道府県の砂防課などのホームページなどで確認できます。都道府県によっては、携帯電話等に自動的に土砂災害警戒情報を連絡するサービスもありますのでご利用ください。



土砂災害警戒判定メッシュ情報

気象庁HPより



豪雨になる前に

③大雨時や土砂災害警戒情報が発表された際には早めに避難する。夜間に大雨が予想される際は暗くなる前に避難する。

がけ下や溪流沿いなどにお住まいの方は、大雨の際や土砂災害警戒情報が発表された際には、早めに近くの避難所などの安全な場所に避難しましょう。

また、夜間に大雨が予想される際には、暗くなる前に避難をすることがより安全です。

お住まいの自治体の避難勧告などの情報に従い、早めの避難を心がけましょう。

なお、豪雨などで避難所への避難が困難な際は、必ずしも安全ではありませんが、近くの頑丈な建物の二階以上に緊急避難したり、さらに困難な際は、家の中のがけから離れた部屋や二階などに避難しましょう。



避難